

様式第6号（第6条関係）

（宛先）安曇野市議会議長



29年10月30日

会派名 公明党  
代表者 小松芳樹  
経理責任者氏名 中村今朝子



### 29年度政務活動費収支報告書

安曇野市議会政務活動費の交付に関する条例第9条の規定により、29年度政務活動費収支報告書を提出します。

#### 1 収支決算

収入の部

（単位：円）

項目	決算額	備考
政務活動費	157,500円	52,500円×3人
合計	157,500円	

支出の部

項目	決算額	備考
研修費	90,000円	30,000円×3人
交通費	27,780円	あずさクーポン
宿泊代	39,000円	40,950円のうち充当
合計	156,780円	

#### 2 収入支出差引残高

720 円

備考

- 1 備考欄には、主たる収入支出の内訳を記載すること。
- 2 政務活動実施状況（別紙）を添付すること。

## 別紙

## 政務活動実施状況

活動名	第19期自治政策講座 IN 東京 「災害・貧困対策、教育・議会の改革－新しい課題と自治体の役割－」	
活動区分	①調査研究 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	議員としての資質向上	
活動の概要	日時	29年5月11日(木)から29年5月12日(金)まで 時分から時分まで
	研修先・主催者等	自治体議会政策学会
	報告内容・実施したこと。	<p>* 問われる教育行政-小中学校へのアクティブ・ラーニング導入 上越教育大学教授 西川 純 氏</p> <p>* 自治体の危機管理と復興体制づくり 明治大学大学院教授・元東京都副知事 青山 侷 氏</p> <p>* 子どもの貧困にどう向き合うか 「未来へつなぐ あだちプロジェクト」の実践 足立区政策経営部子どもの貧困対策担当部長 秋生 修一郎 氏</p> <p>* 豪雨から社会を守る -自治体の責務 中央大学理工学部教授 山田 正 氏</p> <p>* 議会改革と民主主義の実現 山梨学院大学教授 江藤 俊昭 氏</p>

<p>まとめ（感想・市政に活かせること等）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・超高齢化社会の中でこれからは60歳定年が65歳、70歳になっていく可能性がある。その中で非正規雇用の割合が年間1%ずつ上がっている。年収200万円以下の層が増えているが、この人たちも幸せな人生を送るためにはどうしたらいいのか、考えていかななくてはいけない。</li> <li>対策の一つには何があっても生きていける子供たちに育てていかななくてはいけない。学校で仲間を作ることが大切だ。</li> <li>・自治体の危機管理と復興体制づくりはいつ起こるか分からない災害に対して、元東京都副知事の経験からのお話で勉強になりました。「地域社会がしっかりしていれば危機管理はできる。」との一言が印象的でした。</li> <li>・あだちプロジェクトのお話は大変勉強になりました。子どもの貧困。貧乏≠貧困 ではない。</li> <li>子どもの貧困は世代を越えた連鎖、色々な物が絡み合っていて起こっている。</li> <li>見えない貧困、貧困の連鎖＝経済的に苦しいことだけではない。次代を担う子供たちの支援をどうしていくのかが大きな課題。職員の意識改革も重要である。</li> </ul> <p>安曇野市においても、子どもの貧困対策は課題の一つです。経済的貧困だけでなく、子どもたちの健康・生活や教育・学び、心身共の健康を見て上げていく必要があると考えます。色々な形でしっかりと取り組んでいきたいと思います。</p>
---------------------------	--

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。